

山口県東部地域における
腎盂尿管癌の疫学調査
-1994～2003年の10年間の推移-

NPO山口県東部泌尿器科研究会

調査の概要

目的

限られた地域における泌尿器科領域悪性腫瘍のできる限り正確な発生頻度を継続的に調査し、将来的に日本人の泌尿器科領域の癌発生頻度を推計するために、我々は山口県東部地域における泌尿器科癌の疫学調査を1994年から行ってきた。今回1994年から2003年までの10年間の調査結果を検討した。

方法

- 1) 毎年1月から12月までに各医療機関で確定診断された症例の届け出方式とした
- 2) 重複症例は主に治療を行った医療機関からの情報を主体とした
- 3) 調査対象地域以外の症例は除外した
- 4) 当地域外で調査対象患者が受診する可能性のある医療機関には随時調査への協力を依頼した

調査地域

調査対象地域は種々の条件を勘案し、調査精度向上のため以下の8市、7郡とした。

[市部]

山口市 防府市 新南陽市 徳山市 下松市
光市 柳井市 岩国市

[郡部]

大島郡 玖珂郡 熊毛郡 都濃郡 佐波郡 阿武郡
吉敷郡(小郡町、秋穂町)

(平成15年3月以前の市町村合併以前の市町村名で表記)

上記対象地域の各年の人口は、山口県統計課による山口県推計人口(毎年10月1日現在)を用いた。

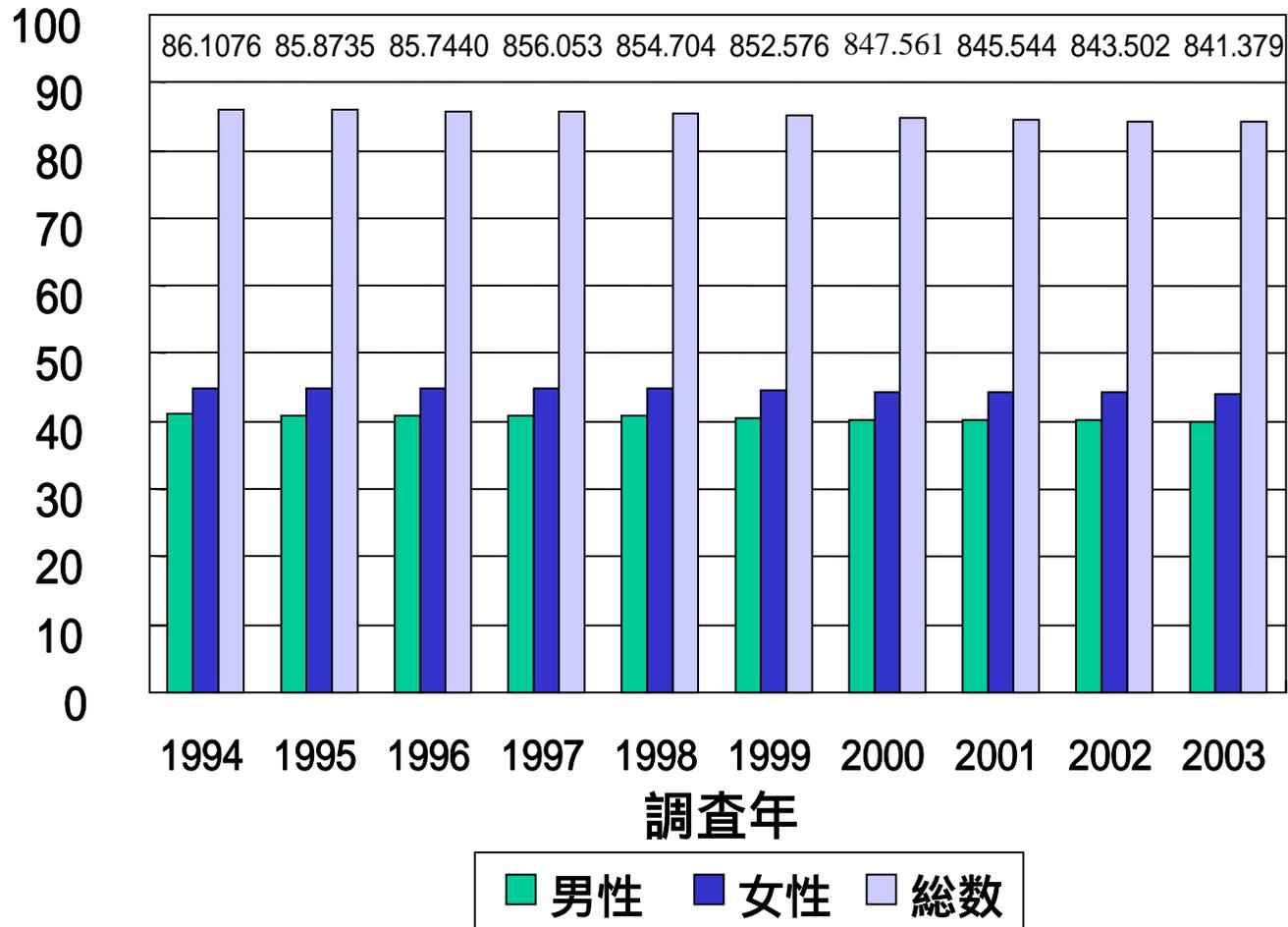
調査協力施設

山口赤十字病院(山口市)	国立病院機構岩国医療センター(岩国市)
済生会山口総合病院(山口市)	廣中泌尿器科(岩国市)
本永泌尿器科医院(山口市)	いなだ泌尿器科クリニック(岩国市)
ながた泌尿器科医院(山口市)	岩国みなみ病院(岩国市)*
山口県立中央病院(防府市)	錦病院(岩国市)*
桑陽病院(防府市)	岩国市医療センター医師会病院(岩国市)*
山口泌尿器科クリニック(防府市)	岩国中央病院(岩国市)
三田尻病院(防府市)	小郡第一病院(吉敷郡小郡町)
社会保険徳山中央病院(周南市)	大和病院(熊毛郡大和町)
小金丸医院(周南市)	光輝病院(熊毛郡平生町)
徳山病院(周南市)*	平生クリニック(熊毛郡平生町)
徳山記念病院(周南市)	町立大島病院(大島郡大島町)
新南陽市民病院(周南市)	益田赤十字病院(島根県益田市)**
かまたクリニック(周南市)	町立美和病院(玖珂郡美和町)*
周南記念病院(下松市)	安本医院(大島郡東和町)*
しのはらクリニック(下松市)	都市見病院(萩市)**
中山医院(下松市)	中村クリニック(玖珂郡和木町)
日立病院(下松市)*	錦中央病院(玖珂郡錦町)
周東総合病院(柳井市)	玖珂クリニック(玖珂郡玖珂町)*
こうだクリニック(柳井市)	国立病院機構大竹病院(広島県大竹市)**
光市立病院(光市)	

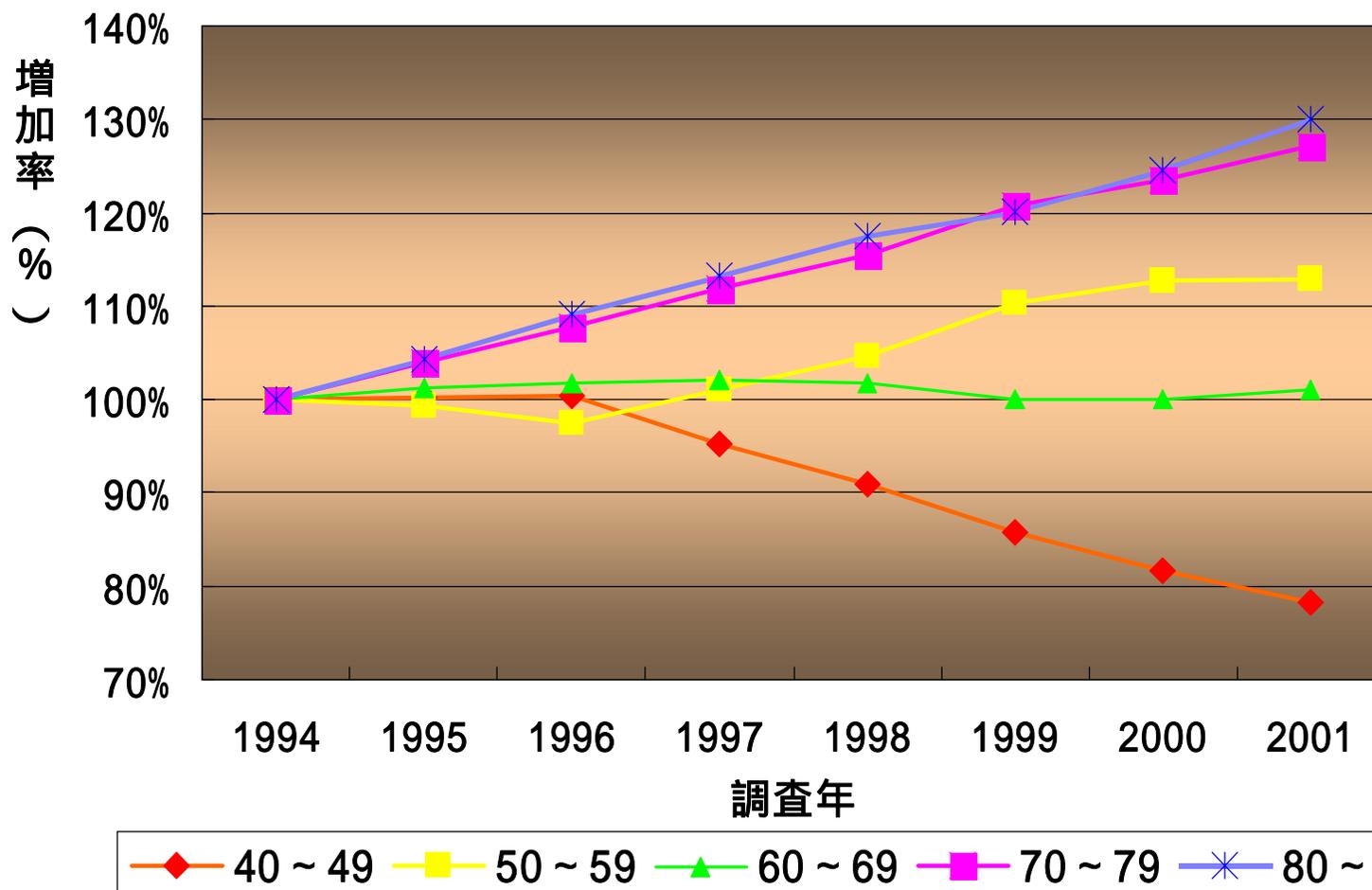
* 泌尿器科常勤医がいない施設 ** 調査対象地域外の施設

調査対象地域の人口動態

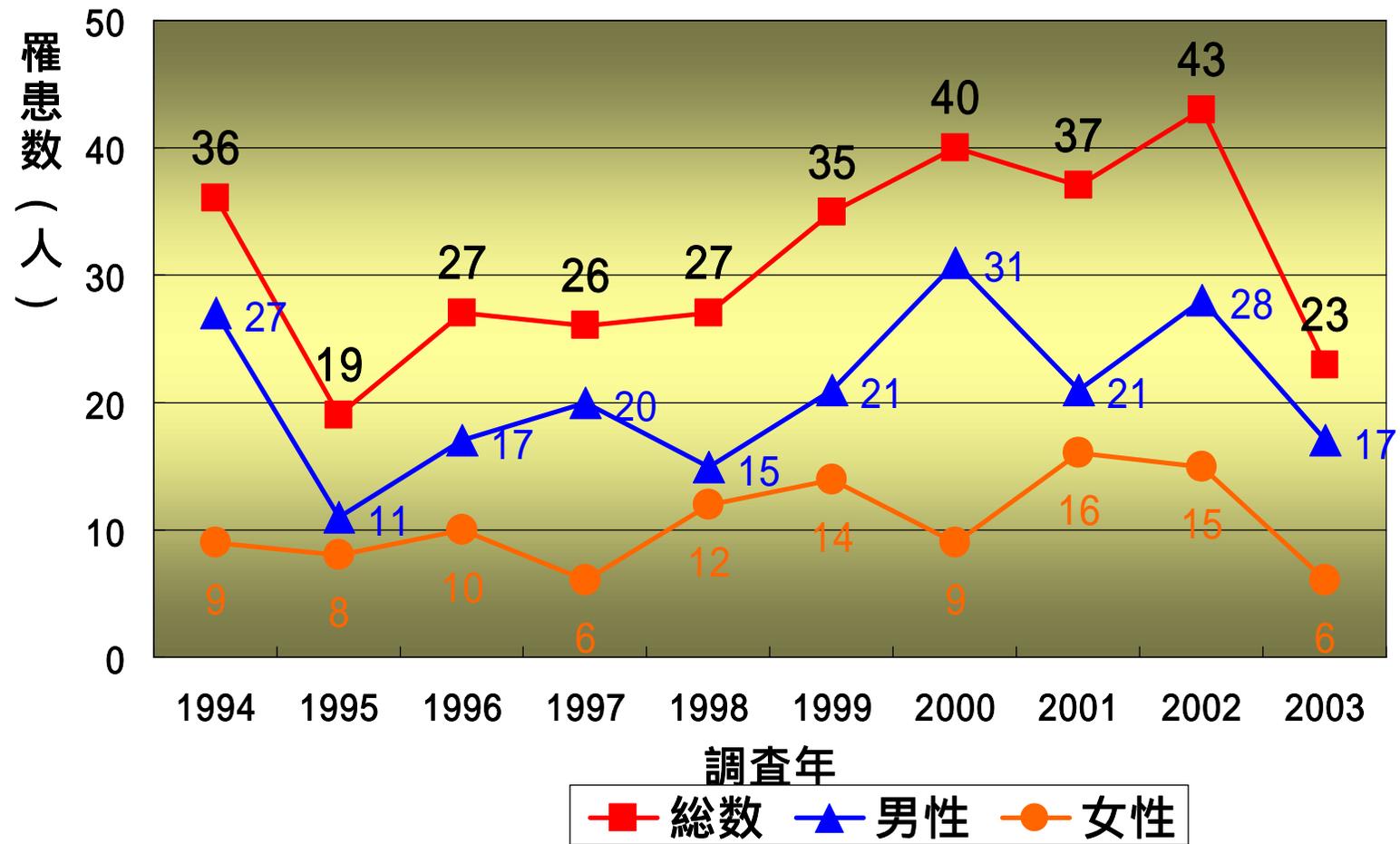
人口(万人)



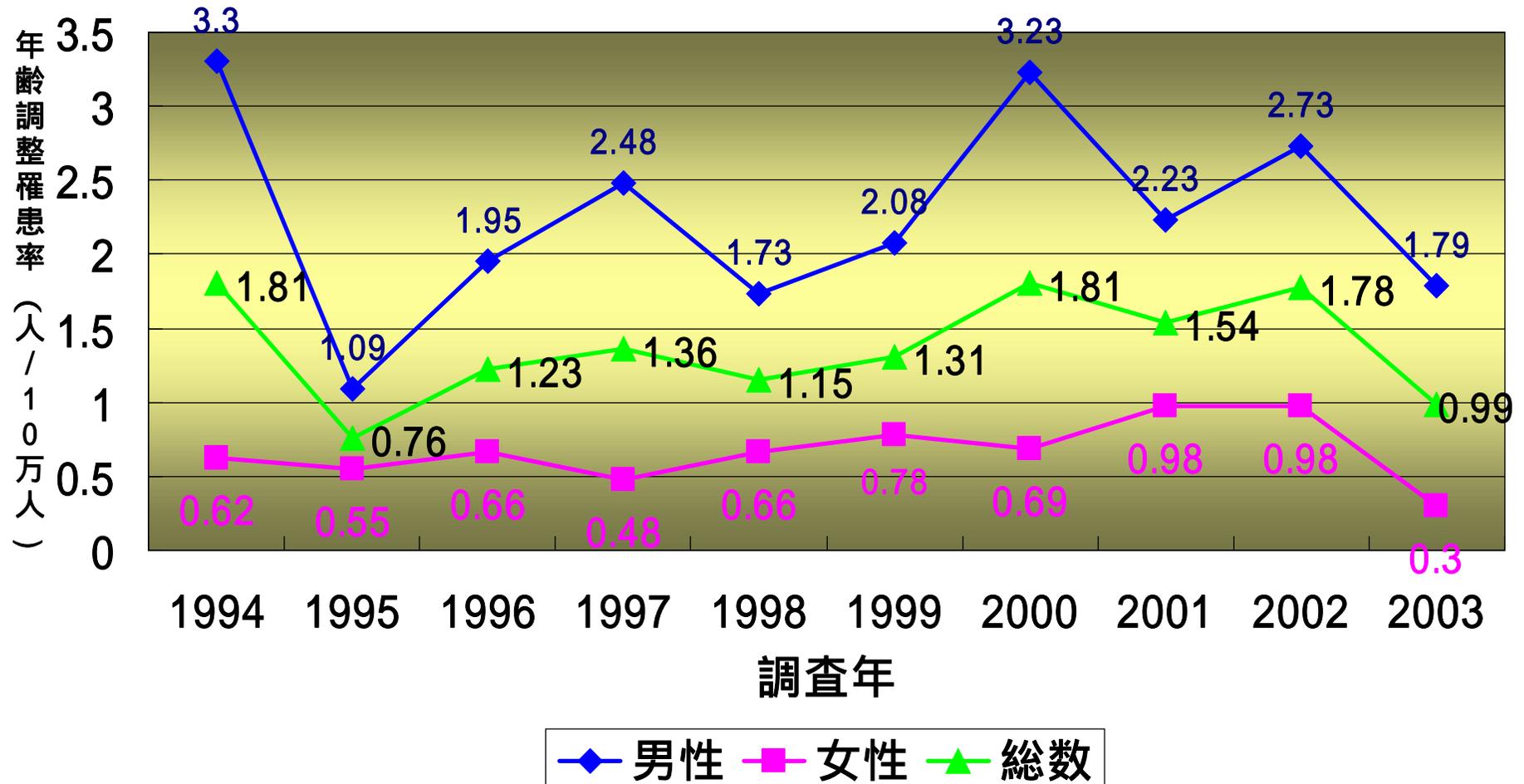
年齡階層別人口動態(增加率)



罹患数



世界人口による年齢調整罹患率

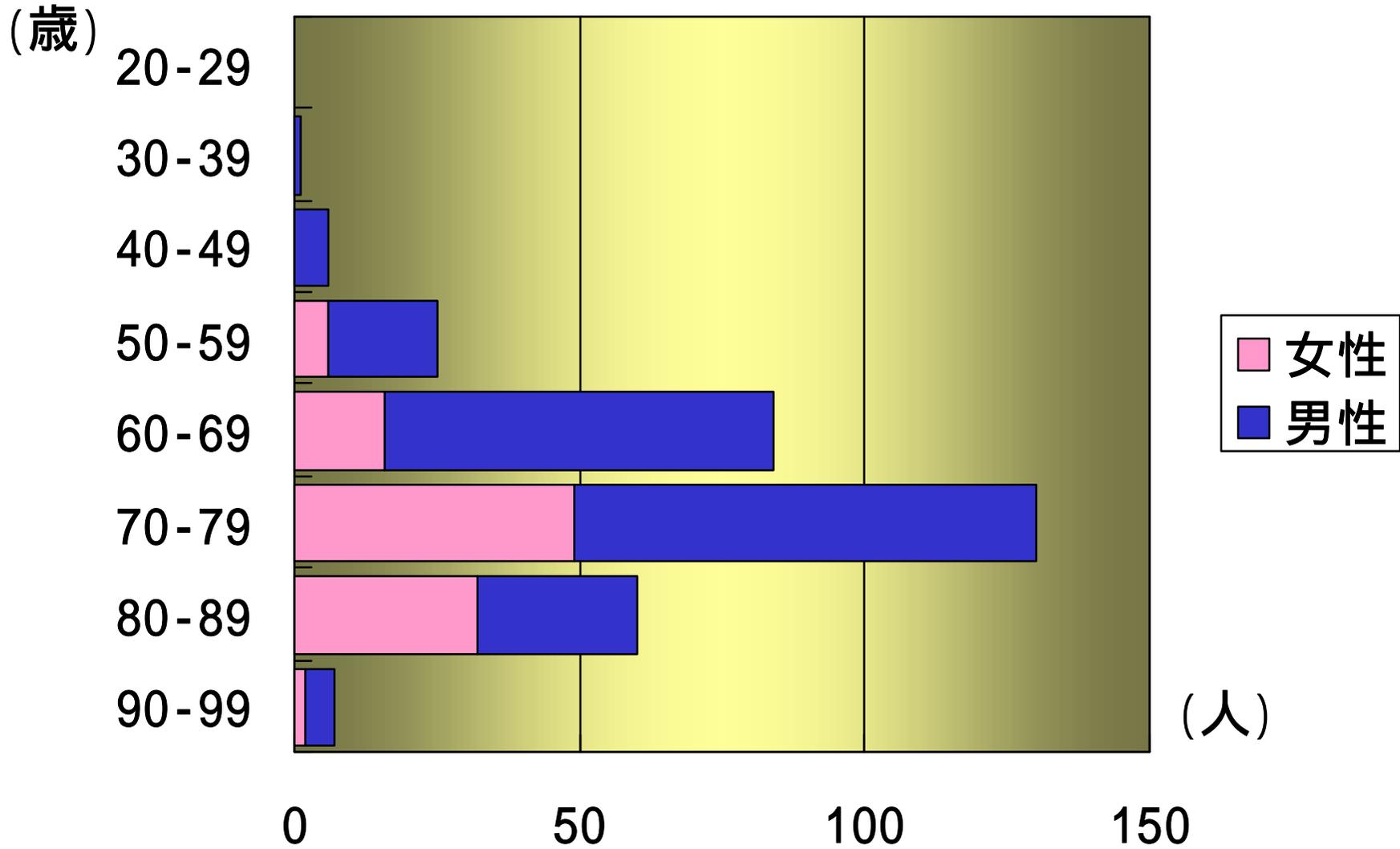


性別・年齡

	男性	女性	全体
症例数	208(66.5%)	105(33.5%)	313
平均年齡	70.3 ± 9.9	75.3 ± 8.2	72.0 ± 9.7

男女比:約2:1

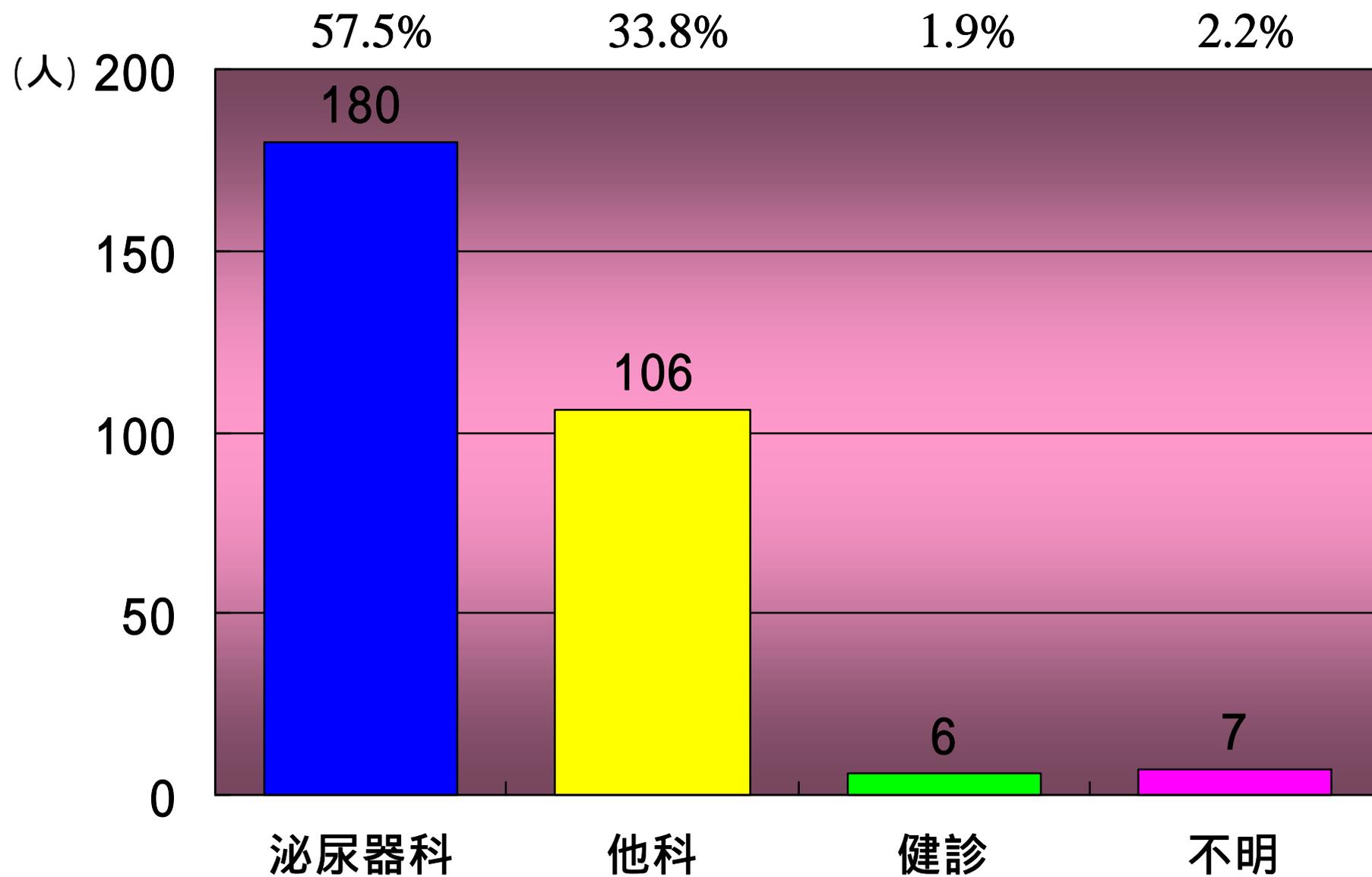
年齡分布



発見動機

	No	%
肉眼的血尿	201	(64.2)
顕微鏡的血尿	25	(8.0)
腎部痛	25	(8.0)
腹部腫瘤	4	(1.3)
頻尿・排尿時痛	11	(3.5)
排尿困難	3	(1.0)
偶発(画像検査)	20	(6.4)
その他	24	(7.7)

初診医療機関

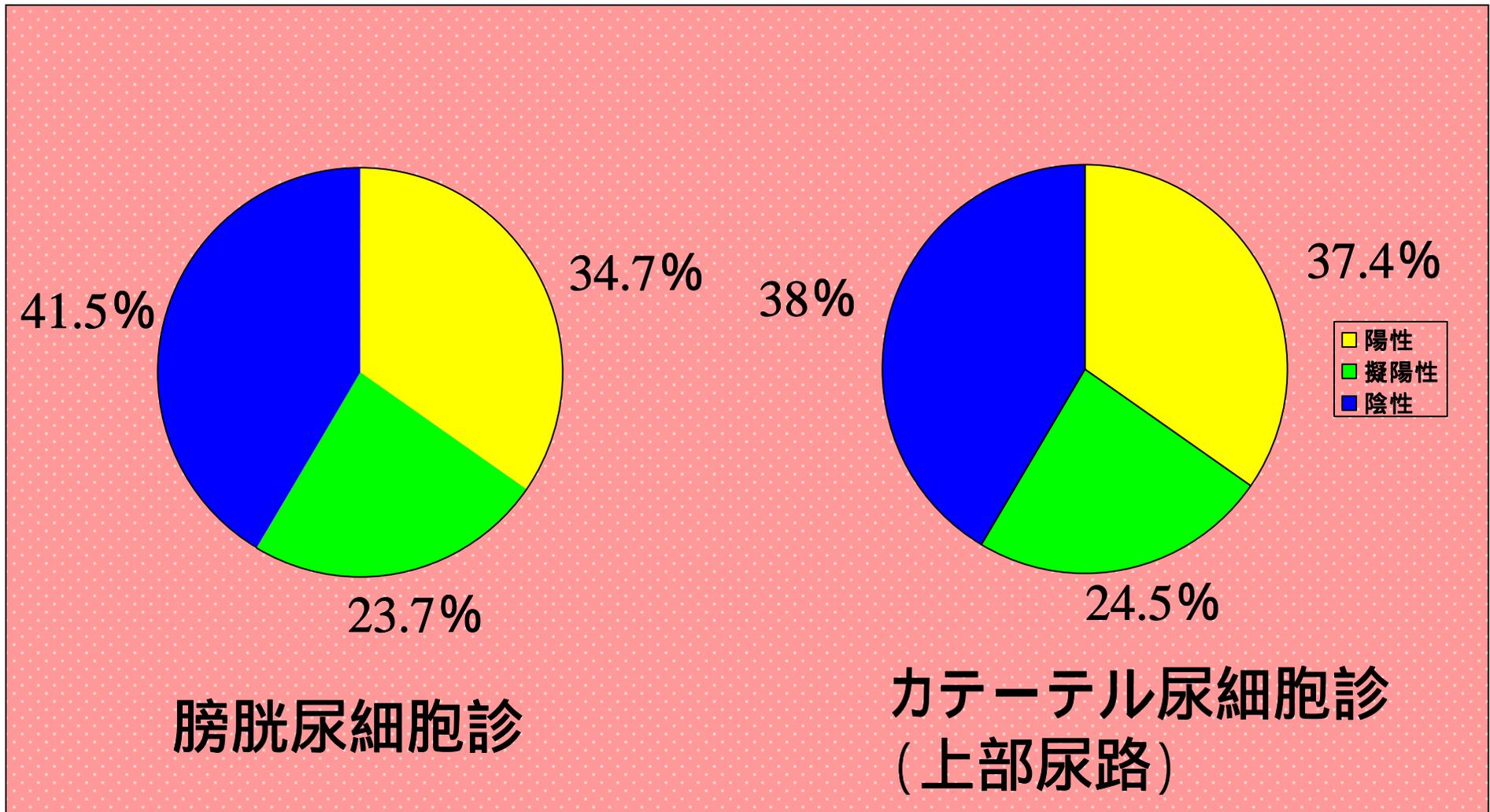


発生部位

	右	左	両側	計
腎盂	55	76	0	131(10)
尿管	73	63	1	137(29)
上部	13	8	0	21 (2)
中部	16	11	0	27 (5)
下部	44	44	1	89 (22)
腎盂と尿管	16	22	3	41 (25)
不明	1	3	0	4
計	145	164	4	313(64)

():膀胱腫瘍合併例

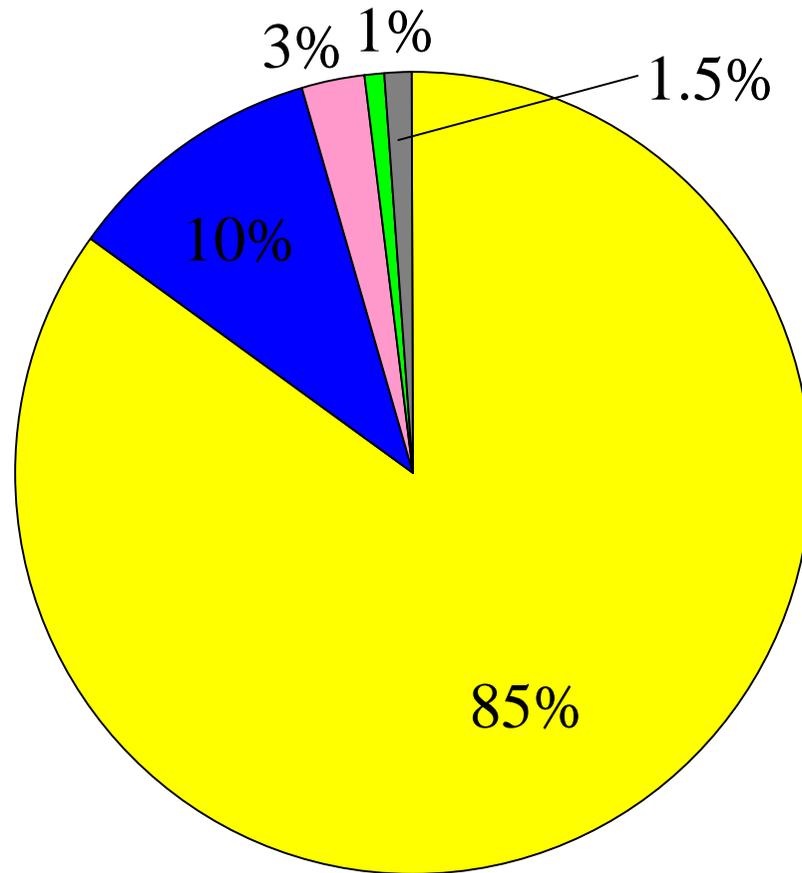
尿細胞診



手術療法

手術方法	No	%
腎尿管全摘除	234	(74.8)
腎摘除	9	(2.9)
尿管部分切除	14	(4.5)
経尿道的腫瘍切除	2	(0.6)
腎尿管膀胱摘除	2	(0.6)
膀胱腫瘍のTUR	1	(0.3)
腎瘻造設	2	(0.6)
ステント留置	1	(0.3)
試験開腹	1	(0.3)
合計	271	(86.6)

組織型



■ TCC ■ TCCを含む混合組織型 ■ SCC ■ AC ■ その他

病理学的所見

	pTa	pT1	pT2	pT3	pT4	pTis	pTx	total
G1	7	10	5	4	0	0	0	26
G2	22	35	25	30	3	0	5	120
G3	6	16	11	50	11	5	7	106
GX	0	2	2	5	3	1	0	13
total	35	63	43	89	17	6	12	265

発生頻度の比較

米国

1985年

0.6人/10万人

大阪

1990～1993年

男性 0.99人/10万人

女性 0.76人/10万人

九州

1993～1994年

1.62人/10万人

男性 2.54人/10万人

女性 0.78人/10万人

山口東部

1994～2003年

3.78人/10万人

1.37人/10万人

男性 2.34人/10万人

女性 0.67人/10万人

黒字は年齢調整罹患率、青字は粗罹患率

臨床・病理学的所見の比較

国内多数症例集計報告*との比較

	他報告集計(1637例)	山口県東部(313例)
男女比	2.7 : 1	2 : 1
平均年齢	66.8歳	72.0歳
左右比 (左・右・両側)	56%・43%・1%	53%・46%・1%
発生部 (腎盂**・尿管)	55%・45%	55%・45%
膀胱癌合併頻度	15%	20%
異型度 (G1・G2・G3)	11.2%・54.4%・34.4%	10.3%・47.6%・42.0%
深達度 (pTa・pT1・pT2・pT3・pT4)	13.7%・28.4%・15.9%・30.5%・11.5%	14.2%・25.5%・17.4%・36.0%・6.9%

*西日本551例(1983-1992)、東海611例(1980-1989)、九州475例(1993-1994)の計1637例

**腎盂腫瘍と尿管腫瘍の合併例は腎盂腫瘍とした

まとめ

1. 山口県東部地区における腎盂尿管癌の疫学調査を10年間行った。
2. 登録症例は313例であった。
3. 罹患率は10万人あたり1.37人で、男性2.34人、女性0.67人であった。
4. 平均年齢72歳、男女比2:1であった。
5. 肉眼的血尿が最多で64.2%、顕微鏡的血尿、腎部痛それぞれ8%であり、初診時に泌尿器科を受診したのは57.5%であった。
6. 腎盂癌172例、尿管癌137例で、膀胱癌合併64例(20%)であった。
7. 腎尿管全摘除術が234例(74.8%)に施行された。
8. G2以上89.6%、pT2以上60.3%とhigh grade、high stage症例が多かった。